

検査ニュース

Vol. 1 No. 2

ご挨拶

平素より佐賀県健康づくり財団の業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は「共用基準範囲の導入」、「検査内容変更」及び「新規項目」について、ご案内いたします。

公益財団法人佐賀県健康づくり財団
専務理事 志 田 正 典

【佐賀県健康づくり財団より重要なお知らせ】

臨床検査の「共用基準範囲」の導入

(平成 30 年 1 月 1 日ご依頼分より)

平成 27 年 4 月に日本臨床検査標準協議会 (JCCLS) が日本国内において共通で使用できる「共用基準範囲」を公表したことを受け、本財団でも従来の基準範囲から「共用基準範囲」に変更することと致しました。詳細は、別紙をご参照下さい。

◆単位リットル表記変更

(平成 30 年 1 月 1 日ご依頼分より)

臨床検査で用いる単位リットル表記には、筆記体エル (ℓ) と小文字エル (l) を使用してきましたが、今回、「共用基準範囲」導入に伴い、大文字エル (L) に変更させていただきます。

現	ℓ、l	dℓ、dl	mℓ、ml	μℓ、μl
↓				
新	L	dL	mL	μL

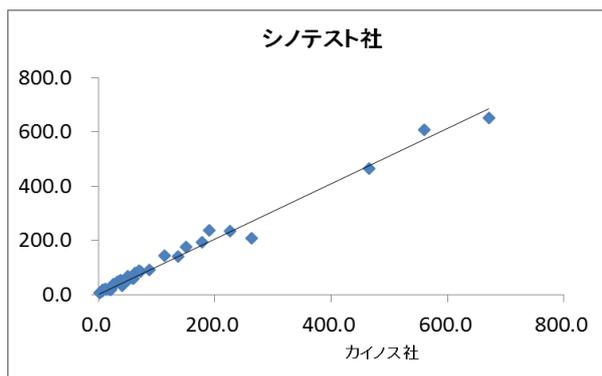
◆リパーゼの基準範囲と単位の変更

(平成 30 年 1 月 1 日ご依頼分より)

リパーゼにつきましては、試薬の変更に伴い基準範囲を変更、及び単位を国際単位へ変更します。

《変更箇所》

案内書掲載頁	項目コード No.	検査項目	変更内容	現	新
41	045	リパーゼ	基準範囲	15~55	13~55
			単位	IU/ℓ	U/L



回帰式 $y = 0.9943x + 8.47$
 相関係数 $r = 0.9940$
 件数 $n = 36$



検査ニュース

Vol. 1 No. 2

◆LAP（ロイシンアミノペプチダーゼ）の基準範囲と単位の変更

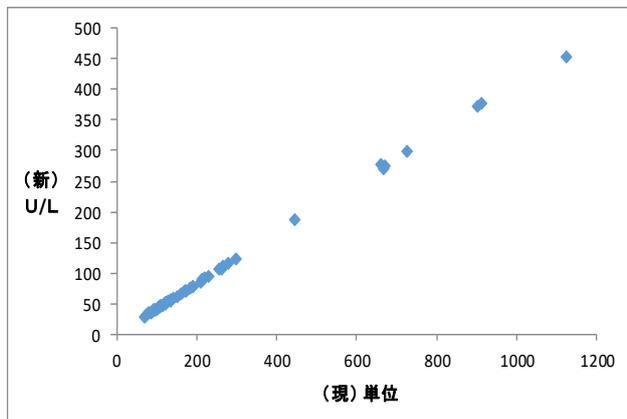
(平成 30 年 1 月 1 日ご依頼分より)

LAPにつきましては、測定試薬標準品をWHO国際標準品に準じた表示値に変更いたします。それに伴い、従来の測定値と比較した場合、約 60%低めになりますので、ご留意頂きますようお願いいたします。

《変更箇所》

案内書掲載頁	項目コード No.	検査項目	変更内容	現	新
41	031	LAP	基準範囲	100～200	30～70
			単位	単位	U/L

■新単位と現単位の相関



回帰式 $y=0.4097x+0.7637$
 相関係数 $r=0.9998$
 件数 $n=56$

LAP 従来値変換早見表

測定値の互換性を取る係数は、新値×約2.44となります。

新値×2.44＝従来値

	新(U/L)	従来(単位)
	5	12
	10	24
	20	49
基準範囲	30	73
	40	98
	50	122
	60	146
	70	171
	80	195
	100	244
	200	488
	500	1220
	1000	2440

●検査内容変更

◆インフルエンザウイルスA型・B型（HI法）

(平成 29 年 11 月 1 日より変更済み)

使用抗原株を平成 29 年度ワクチン株に対応した抗原株に変更しています。なお、検査方法および基準値等の変更はありません。

案内書掲載頁	項目コード No.	検査項目	ウイルス抗原株	
			現	新
64	1851	インフルエンザウイルスA型 (H1N1)	A/カリフォルニア/7/2009pdm09	A/シンガポール/GP1908/2015pdm09
		(H3N2)	A/香港/4801/2014	A/香港/4801/2014 (変更はございません)
	1848	インフルエンザウイルスB型	B/ブーケット/3073/2013 (山形系統)	B-1 B/ブーケット/3073/2013 (山形系統) (変更ございません)
			B/テキサス/2/2013 (ビクトリア系統)	B-2 B/テキサス/2/2013 (ビクトリア系統) (変更ございません)

検査ニュース

Vol. 1 No. 2

●検査項目の内容変更

- ◆トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体 (TAT)
- ◆尿中免疫電気泳動[尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定]
- ◆免疫電気泳動[特異抗血清による同定]
- ◆エストラジオール (E₂)
- ◆ゾニサミド

(平成 29 年 12 月 1 日ご依頼分より)

案内書掲載頁	項目コード No	検査項目	変更内容	現	新
54	1428	トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体(TAT)	検査方法	EIA	CLEIA
			報告範囲	1.0以下、1.1～59.9、60.0以上	1.0未満、1.0～119.0、120.0以上
79	1656	尿中免疫電気泳動 [尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定]	検査方法	免疫電気泳動法	免疫固定法
			備考	特異抗血清の検索は異常蛋白を中心に行いますので、ご了承ください。年齢、病歴を明記してください。	特異抗血清の検索は異常蛋白を中心に行いますので、ご了承ください。年齢、病歴を明記してください。 使用する抗血清はIgG、IgA、IgM、κ、λの5つになります。
79	1657	免疫電気泳動 [特異抗血清による同定]	検査方法	免疫電気泳動法	免疫固定法
90	2707	エストラジオール (E ₂)	検査方法	CLIA	ECLIA
			基準値 (単位)	非妊婦 女性 卵胞期 22～147 排卵期 57～509 黄体中期 56～321 月経期 7～153 閉経期 6～37 男性 10～40 妊婦 妊娠初期 1130～29200 妊娠中期 1110～39700 妊娠後期 1760～41600 (pg/mL)	非妊婦 女性 卵胞期 28.8～196.8 排卵期 36.4～525.9 黄体期 44.1～491.9 閉経後 47.0以下 男性 14.6～48.8 妊婦 妊娠初期 208.5～4289 妊娠中期 2808～28700 妊娠後期 9875～31800 (pg/mL)
			報告範囲	10未満、10～99900000	5.0未満、5.0～99990000
114	2208	ゾニサミド	検査方法	HPLC	ラテックス凝集法
			材料検体量	血清0.2mL	血清0.5mL
			報告範囲	0.5以下、0.6～999000.0	1.0未満、1.0～999999.9
			所要日数	3～5日	2～4日

検査ニュース Vol. 1 No. 2

●検査内容変更

◆「一般細菌薬剤感受性試験」判定基準変更のお知らせ (平成 30 年 1 月 1 日ご依頼分より)

一般細菌薬剤感受性検査の判定基準につきまして、現行の米国臨床標準協会 (CLSI) 「M100-S19」から、厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業 (JANIS) の判定基準と同様である「M100-S22」に変更します。

《センターセット薬剤感受性検査 判定基準変更内容について》

菌群	薬剤名	現 (CLSI M100-S19)			新 (CLSI M100-S22)		
		S (感性)	I (中間)	R (耐性)	S (感性)	I (中間)	R (耐性)
腸内細菌科	セファゾリン (CEZ)	≦ 8	16	≧ 32	≦ 2	4	≧ 8
	セフトキシム (CTX)	≦ 8	16-32	≧ 64	≦ 1	2	≧ 4
	セフトジジム (CAZ)	≦ 8	16	≧ 32	≦ 4	8	≧ 16
	イミペネム (IPM)	≦ 4	8	≧ 16	≦ 1	2	≧ 4
緑膿菌	ピペラシリン (PIPC)	≦ 64	-	≧ 128	≦ 16	32-64	≧ 128
	イミペネム (IPM)	≦ 4	8	≧ 16	≦ 2	4	≧ 8

(MIC単位: $\mu\text{g/mL}$)

●新規検査項目

◆脂肪酸分画 (4成分)

(平成 30 年 1 月 1 日より)

食生活の変遷を背景に、血中必須脂肪酸の構成割合と動脈硬化性疾患との関係が注目されています。一般的に、アラキドン酸 (AA) は動脈硬化を促進、エイコサペンタエン酸 (EPA) やドコサヘキサエン酸 (DHA) は抑制するといわれています。

本項目では、EPA/AA比に加え、新たにDHA/AA比、(EPA+DHA)/AA比を報告します。これらの値が低い場合、動脈硬化性疾患の発症リスクが高くなる可能性があることから、心筋梗塞などの冠動脈疾患や脳卒中のリスク等、病態把握や経時的変化の指標として期待されています。

検査項目	検体量 (mL)	容器	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)
脂肪酸分画 (4成分)	血清 0.5	スピッツ	429 ※4	Gas- Chromatograph法	ジホモマーリノレン酸 22.6 ~ 72.5 アラキドン酸 135.7 ~ 335.3 エイコサペンタエン酸 10.2 ~ 142.3 ドコサヘキサエン酸 54.8 ~ 240.3 ($\mu\text{g/mL}$) EPA/AA比 0.05 ~ 0.61 DHA/AA比 0.27 ~ 1.07 (EPA+DHA)/AA比 0.32 ~ 1.66

※4 生化学的検査 (II) 判断料

案内書 掲載頁	項目コード	検査項目	備考
45	3671	血中脂肪酸分画	新規項目 (脂肪酸分画 (4成分)) 受託開始に伴い、平成 29 年 12 月 28 日ご依頼分をもって受託中止

【 共用基準範囲 】

平成30年1月1日より適用

項目名称	項目	性別	基準範囲		単位	
			共用基準範囲	現行	新(共用)	現行
白血球数 ※1	WBC		3.3~8.6	32~89	10 ³ /μL	×100/μL
赤血球数 ※1	RBC	M	4.35~5.55	410~530	10 ⁶ /μL	万/μL
		F	3.86~4.92	380~480		
ヘモグロビン	Hb	M	13.7~16.8	13.0~18.0	g/dL	
		F	11.6~14.8	12.0~16.0		
ヘマトクリット	Ht	M	40.7~50.1	39.0以上	%	
		F	35.1~44.4	36.0以上		
平均赤血球容積	MCV		83.6~98.2	83.0~98.0	fL	
平均赤血球血色素量	MCH		27.5~33.2	29.2~33.6	pg	
平均赤血球血色素濃度	MCHC		31.7~35.3	30.8~35.1	g/dL	
血小板数 ※1	PLT		158~348	15.2~36.1	10 ³ /μL	万/μL
総蛋白	TP		6.6~8.1	6.7~8.3	g/dL	
アルブミン	ALB		4.1~5.1	3.8~5.0	g/dL	
アルブミン、グロブリン比	A/G		1.32~2.23	1.20~2.50		
尿素窒素	UN		8~20	8.0~20.0	mg/dL	
クレアチニン	CRE	M	0.65~1.07	0.60~1.10	mg/dL	
		F	0.46~0.79	0.40~0.70		
尿酸	UA	M	3.7~7.8	3.5~7.0	mg/dL	
		F	2.6~5.5	2.5~7.0		
ナトリウム ※2	Na		138~145	138~146	mmol/L	mEq/L
カリウム ※2	K		3.6~4.8	3.6~4.9		
クロール ※2	Cl		101~108	99~109		
カルシウム	Ca		8.8~10.1	8.0~10.0	mg/dL	
無機リン	IP		2.7~4.6	2.5~4.7	mg/dL	
グルコース	GLU		73~109	80~110	mg/dL	
中性脂肪	TG	M	40~234	149以下	mg/dL	
		F	30~117			
総コレステロール	TC		142~248	130~220	mg/dL	
HDL-コレステロール	HDL-C	M	38~90	40以上	mg/dL	
		F	48~103			
LDL-コレステロール	LDL-C		65~163	139以下	mg/dL	
総ビリルビン	TB		0.4~1.5	0.2~1.2	mg/dL	
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	AST		13~30	10~35	U/L	
アラニンアミノトランスフェラーゼ	ALT	M	10~42	5~40	U/L	
		F	7~23			
乳酸脱水素酵素	LD		124~222	120~230	U/L	
アルカリホスファターゼ	ALP		106~322	110~360	U/L	
γ-グルタミールトランスペプチダーゼ	γ-GT	M	13~64	10~50	U/L	
		F	9~32			
コリンエステラーゼ	ChE	M	240~486	180~430	U/L	
		F	201~421			
アミラーゼ	AMY		44~132	40~130	U/L	
クレアチン・ホスホキナーゼ	CK	M	59~248	60~290	U/L	
		F	41~153	40~160		
C反応性蛋白	CRP		0.00~0.14	0.30以下	mg/dL	
鉄	Fe	M	40~188	54~200	μg/dL	
		F		48~154		
ヘモグロビンA1c	HbA1c		4.9~6.0	4.6~6.2	%	

※1 単位・報告桁数も変更となります。

※2 単位が変更となります。